

八王子市議会議長

美濃部 弥生 殿

八王子市長 初宿 和夫



「カーボンニュートラルに向けた公共施設のあり方」に
関する提言について (回答)

記

1 提言内容

- (1) 既存公共施設の Z E B 化改修・環境配慮に向けた取組の推進
 - ア 大規模改修を控えている施設や継続使用が見込まれる施設については、Z E B 化可能性調査を積極的に実施し、既存公共施設の Z E B 化を達成することで温室効果ガス削減に向けた実効性ある取組を進めていくこと。
 - イ 調査、設計にあたっては Z E B プランナーをはじめとした専門家の活用や建築部門、環境部門及び財政部門などによる庁内横断的なチームの編成を検討すること。
- (2) カーボンニュートラルに向けた民間事業者等との協働・連携の強化
 - ア 緑地や水脈をはじめとした本市の特性や強みを生かした省エネ・創エネのあり方を検討すること。
 - イ 企業・大学などが持つ技術や知的資源にも目を向け、協働・連携を進めていくこと。
- (3) 市民の環境配慮への意識・行動変容を促す取組の推進
 - ア 公共施設に環境配慮技術を積極的に導入し、市民に環境配慮の一例を可視化して示すことで、啓発に努めること。
 - イ 環境問題に関する人材の育成や市民の活動と交流を促進するための機関や中核施設を充実させるとともに、地域ごとの啓発や活動を支援する拠点を整備すること。

2 回答

(1) 既存公共施設のZEB化改修・環境配慮に向けた取組の推進について

既存公共施設につきましては、老朽化が進む中で、計画的な改修や更新が求められております。こうした機会を確実に捉え、建物の長寿命化と併せて省エネ性能の向上を図ることが重要であると認識しております。

そのため、本市では、国や東京都の補助金制度の活用を視野に入れながら、ZEB化の実施に向け、庁内関係所管との連携を強化し、建築・設備の専門家によるエネルギー性能の分析、改修効果検討なども踏まえつつ、段階的かつ効果的なZEB化改修の検討を進めてまいります。

また、エネルギー価格の高騰や脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中で、公共施設の運営コスト削減や温室効果ガス排出量の削減にも寄与するような、ZEB化に向けた取組をあわせて推進してまいります。

(2) カーボンニュートラルに向けた民間事業者等との協働・連携の強化について

本市の地理的特性や産業構造を踏まえ、地域の強みを活かした省エネ・創エネの導入促進を図り、民間事業者等で協働、連携した環境施策を展開してまいります。

具体的には、中小企業のGXを後押しするため、設備更新や省エネ診断の支援、国や東京都、市の補助制度活用促進などを進めるとともに、企業が持つ技術力や実装力を地域の脱炭素化に生かしていただけるよう、企業との協働体制の強化を図ってまいります。

あわせて、大学が有する研究成果や技術的工夫、知的財産などの資源を地域に還元いただけるよう、大学と企業・行政が連携して取り組む仕組みづくりや技術支援体制の構築についても検討を進めてまいります。

これらの取組を通じ、地域全体でカーボンニュートラルの実現に向けた機運を高め、環境負荷の少ない持続可能な社会を目指してまいります。

(3) 市民の環境配慮への意識・行動変容を促す取組の推進について

物価高騰やエネルギー価格の上昇など、市民生活を取り巻く環境が大きく変化する中で、環境配慮行動が負担感につながり、行動が後退してしまうことが懸念されています。こうした状況においても、市民一人ひとりが無理なく継続できる環境行動を日常生活の中に取り入れられるよう、行動のハードルを下げ、楽しみながら取り組める仕組みづくりを進めることが重要であると考えています。

加えて、八王子地球温暖化防止地域推進センター（クールセンター八王子）と連携し、環境学習講座や体験型プログラムの実施、SNSを活用した啓発などを通じて、環境問題に関する人材育成や市民活動の広がりを支える取組を進めるとともに、記事を読んでいた市民に桑都ペイポイントを付与する仕組みも導入し、楽しみながら学び・行動できる環境づくりを図っています。

そのため、公共施設における照明のLED化や高効率設備の導入、再生可能エネルギーの活用など、環境配慮技術の導入を積極的に情報発信することで、市民に分かりやすい形で環境配慮行動の実例を示してまいります。

さらに、環境イベントや出前講座、子ども向けの体験学習など、多様な啓発活動を展開するとともに地域の特性に応じた環境活動が生まれるような仕組みづくりにも取り組んでまいります。